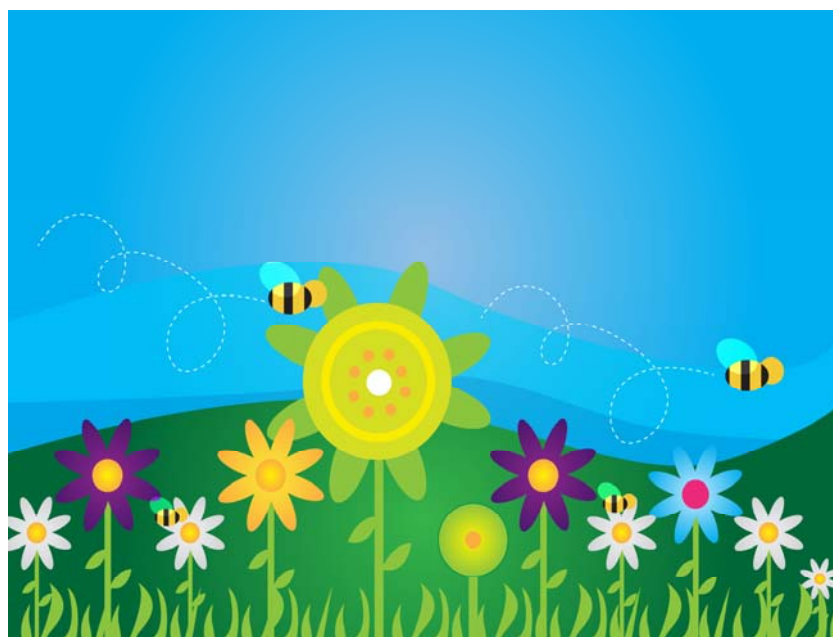




平成27年度（2015年度）

環境報告書



 株式  
会社 **奥田**  
OKUDA CORPORATION

## ごあいさつ

弊社は、創業以来 110 年の歴史を有し、永年製紙原料商の間屋を営み、昭和 21 年 10 月より、和洋紙販売並びに加工部門を増設いたしました。その伝統と信用、豊かな経験と技術を活かし絶えずお客様にご満足いただける品質本位の製品づくりをと心がけております。

又、近年は、ますます多様化するニーズに的確に対応すべく研究・開発にも力を入れ新たな飛躍を目指しております。これも日ごろより皆様方のひとかたならぬご支援とご協力を賜りましたお陰と、深く感謝致しております。

今後とも何卒倍旧のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



## 経営理念

時代の変化に対応、社会のニーズに応える。

創意工夫・努力によって、飛躍と発展を目指す。

仕事を生き甲斐に出来るよう、明るい職場作りを目指す。

## 環境方針

当社は、紙・フィルム加工製品の供給を通して、お客様のニーズに応え、社会に貢献する。

最終製品として表に出ることは少ないが、エレクトロニクス分野を始めとするさまざまな分野で、

「縁の下の力持ち」として重要な役割を担う機能性材料・工程材料・包装材料を提供していく。

21 世紀は「環境の時代」。さらに「環境に優しい事業活動と環境負荷の低減を目指していく」ため

「環境マネジメントシステム」を構築し、その継続的改善の推進と環境汚染予防に努めていく。

事業活動を推進していく上で、環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守すると

ともに、活動、製品及びサービスに関する環境側面のうち次の事項を最重要課題と考え、積極的に取り組んでいく。

## 方針展開

1. 環境に配慮した製品の提供
2. 廃棄物の削減
3. エネルギーの効率的使用

この環境方針を達成するために、年度毎に環境目的及び環境目標を設定し、

その実現を図っていくとともに、年 1 回あるいは、必要に応じてその見直し改訂を行う。

また、環境方針は全従業員及び当社のために働くすべての人に周知し、一般の人にも開示する。

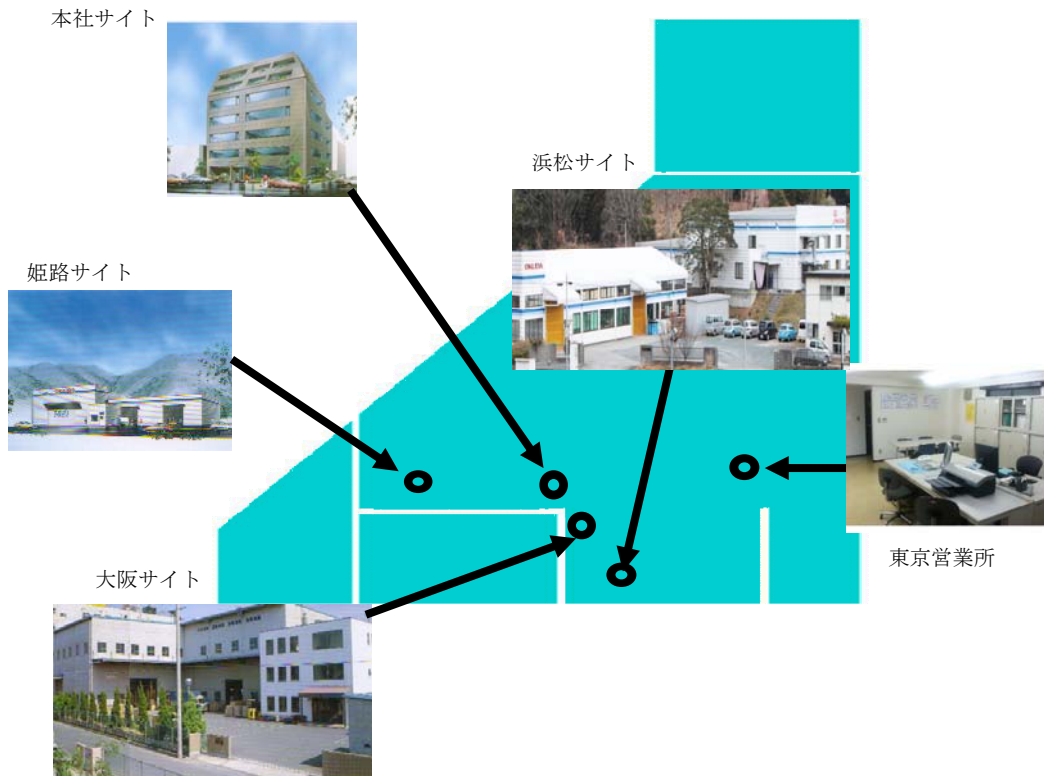
平成 27 年 4 月 1 日  
代表取締役 奥田晋也

## 会社概要

名称 株式会社 奥田  
 創業年月 明治 37 年(1904 年) 8 月  
 創立年月 昭和 27 年(1952 年) 12 月  
 資本金 払込済 5,000 万円  
 授權 12,000 万円

本社・総務部 〒542-0082 大阪市中央区島之内 1 丁目 15 番 9 号  
 TEL.06-6252-0151 FAX.06-6252-0155

営業部・製造部  
 大阪営業所・大阪工場 〒582-0027 大阪府柏原市円明町 1000 番 50 号  
 TEL.072-976-0661 FAX.072-976-0441  
 東京営業所 〒101-0031 東京都千代田区東神田 3 丁目 2 番 8 号  
 TEL.03-5821-2331 FAX.03-5821-2335  
 浜松工場 〒437-0005 静岡県袋井市見取 1757 番地  
 TEL.0538-49-1050 FAX.0538-49-0088  
 姫路工場 〒679-4302 兵庫県たつの市新宮町香山 1061 番 3 号  
 TEL.0791-76-6661 FAX.0791-76-6662



## 会社略歴

明治 37 年(1904 年) 8 月	奥田商店創業(製紙原料商)
昭和 21 年(1946 年) 10 月	和洋紙及びび紙加工部門併設
昭和 27 年(1952 年) 12 月	法人に改組(株式会社奥田商店)
昭和 36 年(1961 年) 4 月	東大阪営業所・工場開設
昭和 48 年(1973 年) 8 月	姫路営業所・工場開設
昭和 48 年(1973 年) 10 月	東京営業所開設
昭和 52 年(1977 年) 8 月	株式会社奥田に名称変更
昭和 56 年(1981 年) 1 月	大阪営業所・大阪工場開設
平成 2 年(1990 年) 10 月	浜松工場開設(第一工場)
平成 7 年(1995 年) 10 月	姫路工場増設
平成 8 年(1996 年) 2 月	OKUDA CORPORATION (THAILAND) LTD.設立
平成 10 年(1998 年) 10 月	浜松工場増設(第二工場)
平成 12 年(2000 年) 2 月	浜松工場・姫路工場において ISO9002 認証を取得
平成 13 年(2001 年) 2 月	全社において ISO14001 認証を取得
平成 14 年(2002 年) 10 月	製紙原料事業部門(大阪地区)を関西製紙原料事業協同組合へ業務移管
平成 15 年(2003 年) 4 月	製紙原料事業部門(兵庫地区)を㈱e-pax へ業務移管
平成 17 年(2005 年) 1 月	ISO14001:2004 認証に移行取得
平成 21 年(2009 年) 2 月	ISO9001:2008 認証に移行取得
平成 25 年(2013 年) 6 月	奥田高機能電材貿易(深圳)有限公司設立
平成 27 年(2015 年) 8 月	OKUDAPHILS CORPORATION 設立

## ISO14001 認証登録

平成 13 年 2 月に全社において ISO14001 を認証取得し、15 年目となります。年 1 回の内部監査を行うことで、マネジメントシステムをチェックし、改善を重ねています。

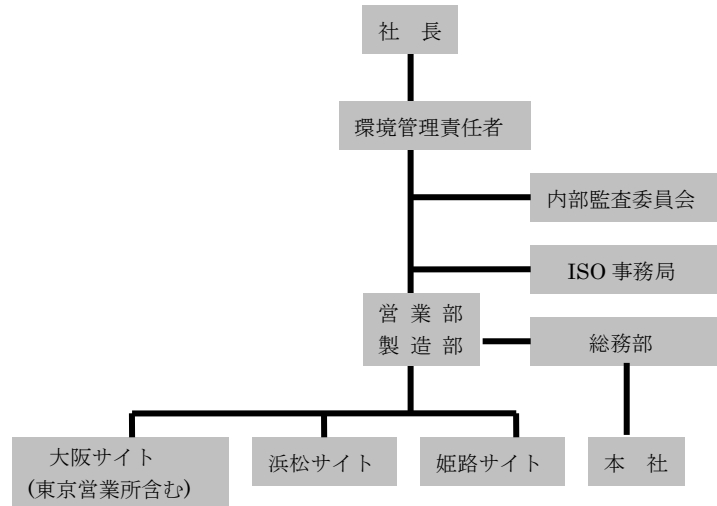


## 環境管理推進組織体制

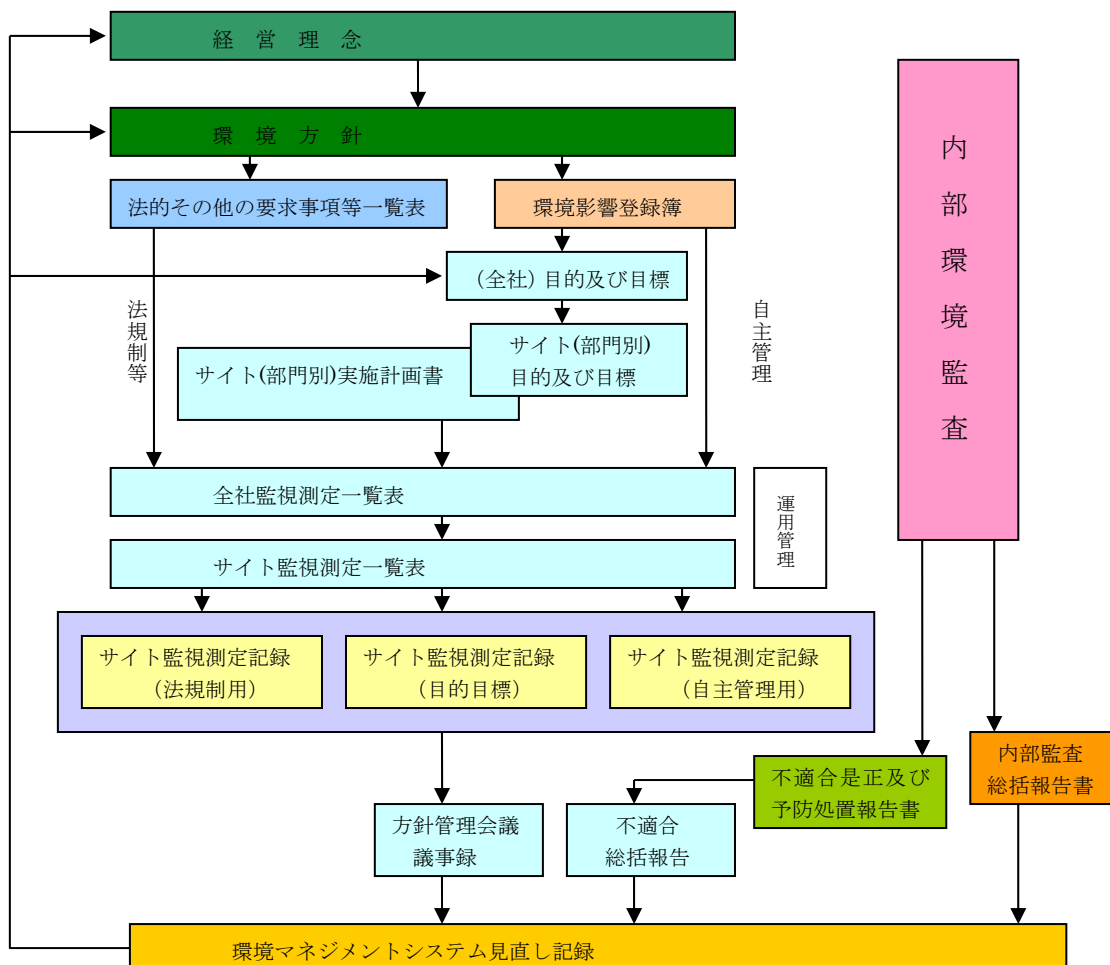
### 環境管理推進組織

当社では、社長の指名により環境管理責任者を任命し、環境管理責任者のもとに各サイト毎にサイト長及び環境担当者を設置して環境管理の推進を行っております。

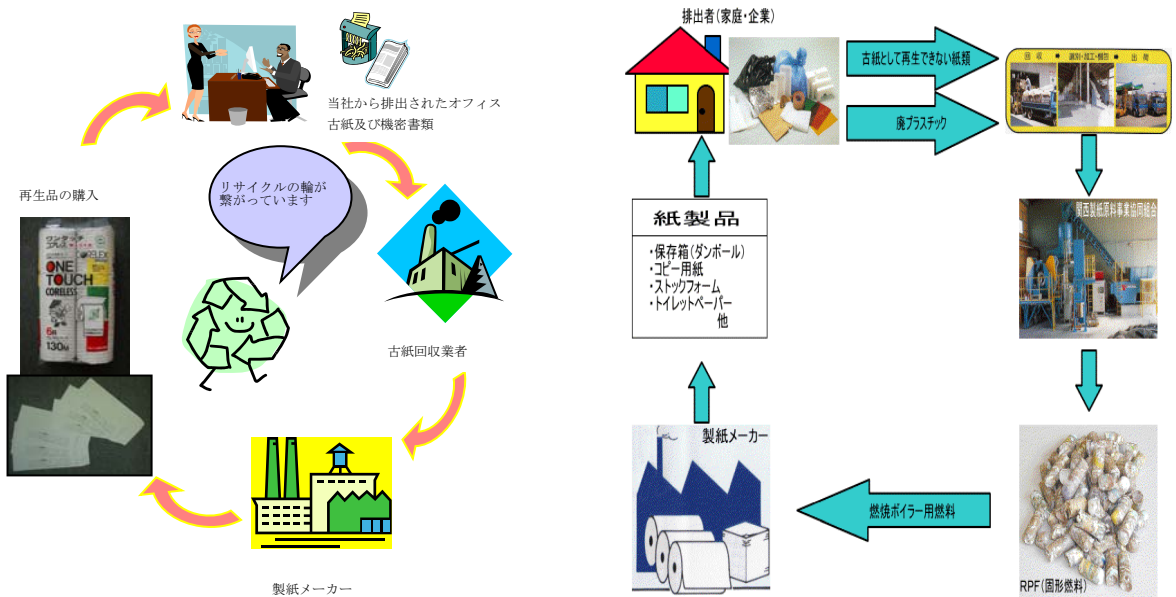
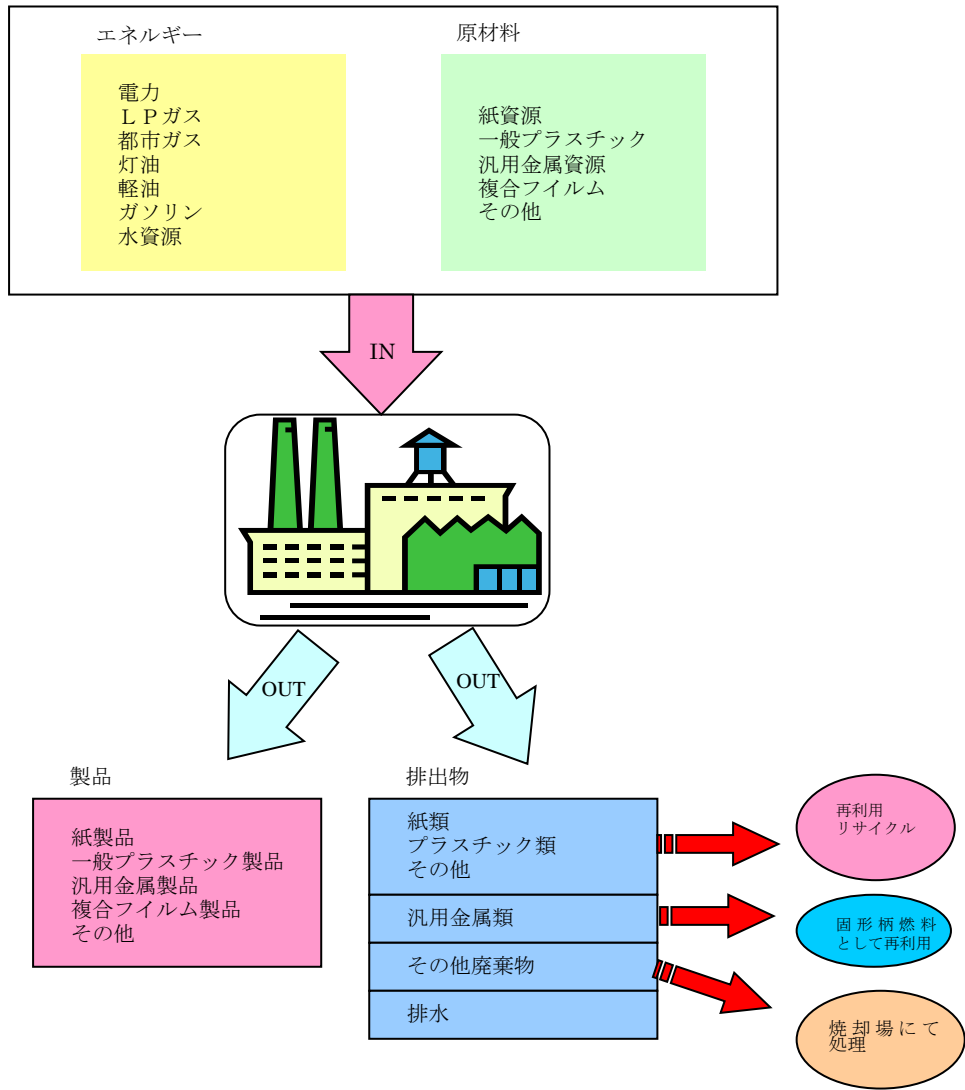
また、内部監査委員会を設置し、EMS の推進における問題点等の審議を行っております。



## 環境マネジメントシステム



# 生産活動に伴う I N-O U T 項目



## 1年間のISOに関する活動状況

平成 27 年	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期マネジメントレビューの実施</li> <li>・環境影響調査の実施</li> <li>・法的及びその他要求事項の見直し</li> <li>・環境方針より、27 年度環境目的及び目標の決定</li> <li>・マニュアル・規定及び文書類の見直し</li> </ul>
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期マネジメントレビューの実施</li> <li>・環境内部監査の実施（環境管理責任者・本社・大阪・浜松）</li> </ul>
	12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001 更新審査</li> </ul>
平成 28 年	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期マネジメントレビューの実施</li> <li>・環境影響調査の実施</li> <li>・法的及びその他要求事項の見直し</li> <li>・品質・環境統合方針より、28 年度目標の決定</li> <li>・マニュアル・規定及び文書類の見直し</li> </ul>

### ● 法令

環境基本法	・公害防止・環境保全義務の順守
悪臭防止法	・インク・溶剤保管管理施設等の設置及び取扱い標準順守
安全衛生法	・安全衛生規制基準の順守(安全衛生委員会の設置)
浄化槽法	・浄化槽設置届の順守
下水道法	・下水道法規制基準の順守
省エネ法	・エネルギー削減責務の順守
廃棄物法	・産業廃棄物管理・マニフェストの報告の順守
再生資源法	・再生資源利用促進に関する責務の順守
高圧ガス法	・製造許可・消費届・保安統括者届の順守
フロン排出抑制法	・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の順守
廃家電リ法	・廃家電が適正かつ確実に回収・処理されることの順守
電気事業法	・電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安規定届出の順守

### ● 条例

大気汚染防止法	・第一種管理化学物質の排出量の届出（VOC）
騒音規制法	・施設設置届・騒音規制基準の順守
振動規制法	・施設設置届・振動規制基準の順守
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定可燃物届・防火対象物使用開始届</li> <li>・少量危険物取扱・貯蔵届・消防用設備等設置</li> <li>・危険物施設設置許可等の届・変電設備設置届</li> </ul>

### 環境に関する法規制等順守状況

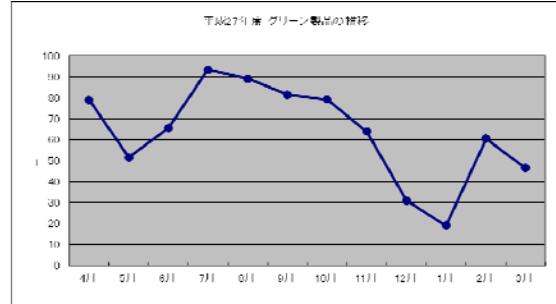
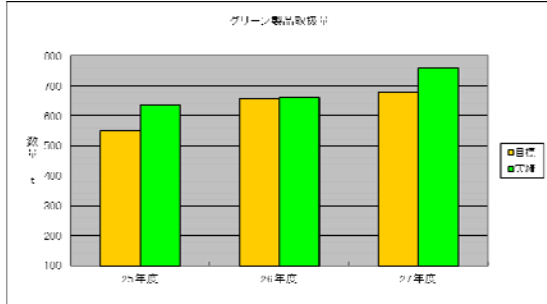
平成 27 年度中の事業活動における環境関連の法令、条例等の違反行為はありませんでした。

## 環境管理推進に関する全社

### グリーン製品取扱量について

環境方針…環境に配慮した製品の提供

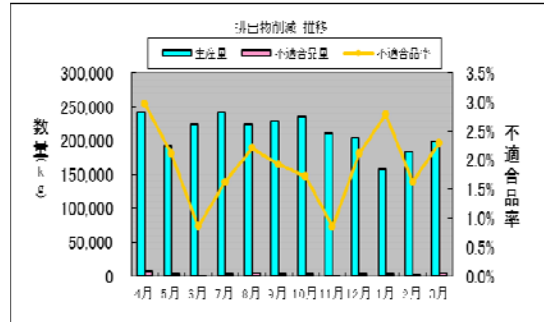
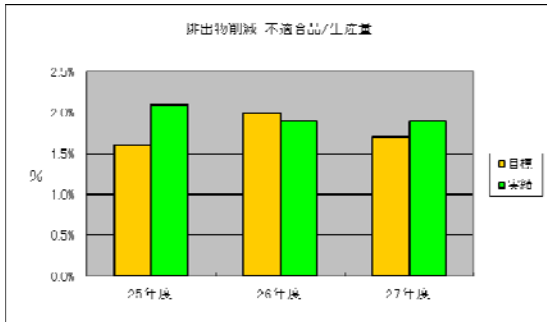
環境目的…グリーン製品を開発し、評価・認定した上で拡販することにより年間取扱量を 2012 年度 (平成 24 年度)実績 510t を 2015 年度(平成 27 年度)までに 680t に拡大する。



### 排出物削減について

環境方針…排出物の削減

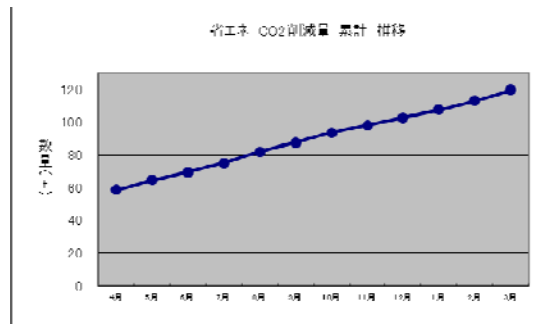
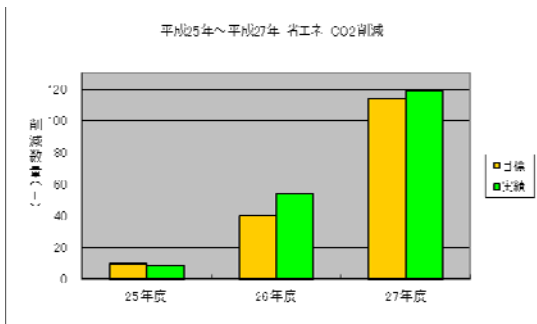
環境目的…不適合品の削減により生産量に対する不適合品率を 2013 年度(平成 25 年度)実績の 2.1% を 2015 年度(平成 27 年度)までに 1.7%にする。



### エネルギーの効率的な使用

環境方針…省エネ推進

環境目的…省エネルギーを推進する事により 2015 年度(平成 27 年度)までに CO<sub>2</sub> の排出量を 2012 年度(平成 24 年度)比 114 t 削減する。





## グリーン製品例



### 【リサイクル可能な緩衝材】

環境・リサイクル関連法対応型の古紙系緩衝材と澱粉系緩衝材です。紙+農産物加工残渣+廃プラスチックをリサイクルしてつくりました！



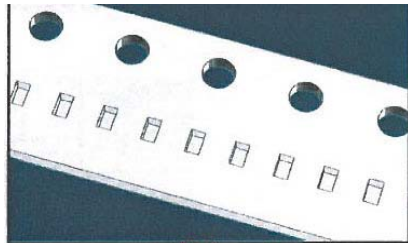
### 【生分解性シート】

難燃性+生分解性フィルム。環境対応性のある新しい素材です。



### 【プロセスシート(キュアシート)】

環境適応性…塩素などのハロゲンを含みません。  
低汚染性…シリコン、粘着剤、可塑剤を含まない上、樹脂自体の熱安定性が高い為 FPC を汚染しません。



### 【紙キャリヤテープ プレス品】

打ち抜かないため打ち抜きゴミが発生せず、また、底テープが不要になり省資源になります。



### 【グリーン製品一覧表】



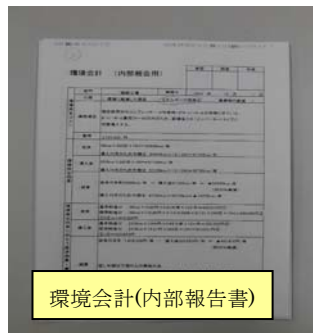
### 【グリーン製品評価表】

## 環境会計

環境保全コスト		環境保全効果		環境保全対策に伴う —実質的效果—	
費用					
排出物の削減	0 円	キュアー原反包装材の簡易包装化	0.5796 t	削減金額	11,592 円
省エネ	0 円	ハイブリット車入替	3.231 t	削減金額	237,136 円
	0 円	照明のLED化	0.6384 t	削減金額	28,296 円
維持費	789,700 円				
合計	789,700 円			合計	277,024 円



環境会計報告書



環境会計(内部報告書)



## 環境管理推進に関する教育

- ・環境管理推進に関しての教育を全社員対象に教育計画を立て、各サイト毎に行っております。  
また、環境方針については、環境カードを全員に携帯させ、環境に対しての意識付けと啓蒙を行っております。

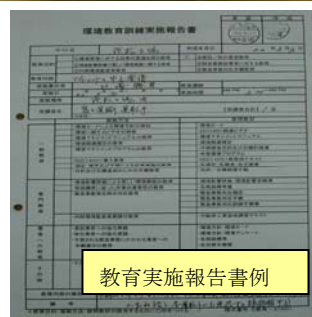
教育種別	教育目的	教育目標	手段	対象者
一般教育	ISO 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全の為に課せられた役割と権限の教育</li> <li>・EMS に対する関与の自覚と責任感を持たせる教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001 教育用テキストによる社内教育</li> <li>・環境マネジメントマニュアルによる社内教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員</li> <li>・全社員</li> </ul>
	EMS 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準・手順に沿った作業の重要性の教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境関連規定による社内教育</li> <li>・環境プログラム実施の社内教育</li> <li>・各標準・手順書を教材とする教育</li> <li>・目的・目標達成の為に手順の社内教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員</li> <li>・環境担当者</li> <li>・全社員</li> <li>・環境担当者</li> </ul>
専門・業務・教育	特定業務教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価で著しい環境側面に関する教育</li> <li>・取扱い標準に従った作業の重要性の教育</li> <li>・緊急事態発生時の対応教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価による社内教育</li> <li>・各種取扱い標準による社内教育</li> <li>・緊急事態訓練による実地教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定業務従事者</li> <li>・特定業務従事者</li> <li>・特定業務従事者</li> </ul>
	監査員教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部環境監査員の能力向上の為に教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO 資料による社内教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部環境監査員</li> </ul>
資格認定	内部環境 監査院資格 認定教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部環境監査員の資格認定する為の教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関等の講習による社外教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査委員長選抜者</li> </ul>



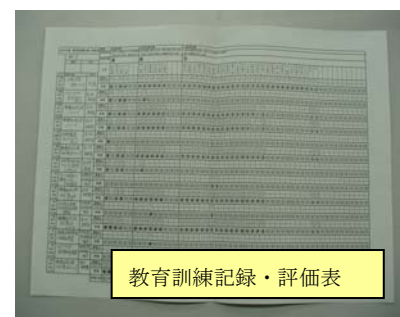
環境教育用資料例



環境実施計画書



教育実施報告書例



教育訓練記録・評価表

## 気候変動キャンペーン「Fun To Share」に参加

「Fun To Share」とは、最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら低炭素社会をつかっていこうよ！というキャンペーンです。当社はこの国民運動に参加しています。

